



やまと の 名品

源氏物語絵合巻
奈良絵表紙

あまた「光源氏」を主人公とした
数多の女性との華やかな恋
愛模様を中心に描かれるこ
の物語は、執筆当初から読
者の心をとらえ、絵画・音
楽・演劇など様々な分野に
影響を与えたながら、今日ま
で読み継がれてきました。
掲出の『絵合巻』は、光
源氏が三十一歳頃のお話で
す。巻名になつてゐる「絵
合」とは、貴族の間で行わ
れていた「物合」遊戯の一

ついで、物語や日記などにちなんだ絵画の優劣を、左方と右方に分かれて競う遊びのこと。

本書は土佐光信画と伝えられる奈良絵表紙が豪華な一冊。金銀を多用したその表紙絵は、室町末期の彩色密画源氏絵の代表作の一つとされています。前表紙は宮中で開催される絵合に出す作品を、光源氏と紫の上が選んでいる場面。後表紙はその当日、光源氏が後見する梅壺女御側と、権中納言（頭中将）の娘、弘徽殿女御側の作品が、冷泉帝の御前に進呈された場面が描かれています。気になるその勝負の行方は……。最終

利となりました。

今秋、天理図書館は開館九十三周年を記念して、「源氏物語展」を開催致します。本館が所蔵する『源氏物語』資料群の中から、主要な物語写本・絵画資料・自筆注釈書など、掲出書を含む三十三点を精選して展示致します。作者紫式部は来年一月から始まる大河ドラマ『光る君へ』の主人公としても注目されるところですが、長い時を経て今に伝わる『源氏物語』、その写本群の姿をご覧いただければ幸いです。

◆豪華な奈良絵で描かれ
た『源氏物語』表紙

つで、物語や日記などにちなんだ絵画の優劣を、左方と右方に分かれて競う遊びのこと。

が須磨・明石に蟄居してい
た頃に描いた「須磨の絵日
記」が出され、梅壺側の勝
利となりました。

九十三周年を記念して、
「源氏物語展」を開催致し
ます。本館が所蔵する『源

氏物語 資料群の中から、
主要な物語写本・絵画資料・
自筆注釈書など、掲出書を

含む三十三点を精選して展示致します。作者紫式部は

来年一月から始まる力演劇『光る君へ』の主人公としても注目されるところ

ですが、長い時を経て今に伝わる『源氏物語』、その写本群の姿をご覧いただければ幸いです。

〈天理図書館のお知らせ〉

Tel 0743-63-9200 URL <https://www.tcl.gr.jp/>

◇平日(午前9時~午後5時半) 土・日・祝(午前9時~午後4時半)

○10月の休館日：1日・8日・15日・18日・22日・26日・29日・31日

○本書は、天理参考館で10月18日～11月27日開催の天理図書館開館93周年記念展「源氏物語展—珠玉の三十三選—」で展示します。



▶【げんじものがたりえあわせのまき ならえびょうし】 -----

伝土佐光信画 1冊

室町末期写

縱25.5cm 橫17.5cm



DATA